

大阪市立矢田西小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

学力面では、学校の落ち着きとともに、基礎・基本の定着を図る取組を継続してきたことにより、経年調査等においては、徐々に効果が表れつつある学年もある。しかしながら、まだまだ基礎・基本の定着が不十分な児童も見られる。全国学力・学習状況調査においては、論理的思考力が問われる記述式の問題等で課題が見られるため、4 分位相区分 4 に属する児童の割合が少なくない。家庭学習の習慣化にも課題が残る状況である。

このような状況の中で、「確かな学力」をはぐくむために、児童の実態に沿ったきめ細やかな指導を継続させていく必要がある。また、児童に基本的生活習慣を定着させるとともに、規範意識をしつかりもたせ、児童の授業に取り組む姿勢の改善や学習意欲の向上を図る必要がある。

中期目標

【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「いじめはどんな理由があってもいけない」とだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を **70%以上** にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を、毎年、前年度より減少させる。
- 令和 7 年度末の校内調査の「学校では、命を大切にし、人権を尊重する心と態度を育てるための学ぶ機会が多くある」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、令和 4 年度からの **4 年間で 4 ポイント増加** させる。

【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を **40%以上** にする。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も、**前年度より 0.5 ポイント向上** させる。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **40%以上** にする。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **75%以上** にする。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を、**40%以上** にする。

【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の **55%** 以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く。）
- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を **95%以上** にする。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、**80%以上** にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- 令和6年度の小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を **83.7%以上** にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
※不登校状態であっても、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握する。
- 年度末の校内調査の「学校では、命を大切にし、人権を尊重する心と態度を育てるための学ぶ機会が多くある」の項目について、肯定的に答える児童の割合を **91%以上** にする。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

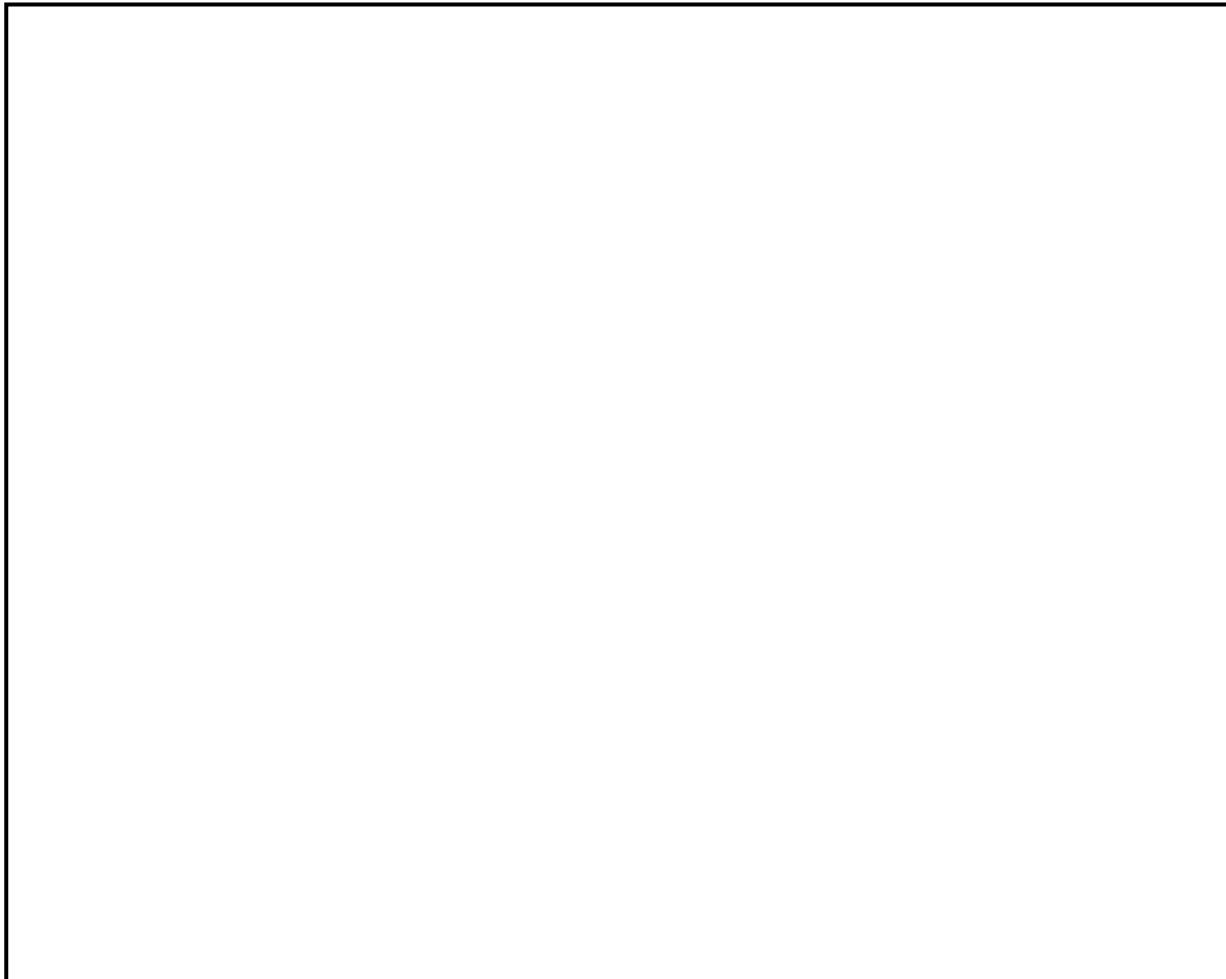
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を **56.6%以上** にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より **0.1ポイント** 向上させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **71%以上** にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **73%以上** にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を **74.7%以上** にする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の **50%以上** にする。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く。）
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を **90%以上** にする。
- 令和6年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、 **76%以上** にする。

3 本年度の自己評価結果の総括



評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○令和6年度の小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 83.7% 以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>※不登校状態であっても、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握する。</p> <p>○年度末の校内調査の「学校では、命を大切にし、人権を尊重する心と態度を育てるための学ぶ機会が多くある」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 91%以上 にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】（いじめへの対応）	
指標：令和5年度の小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 83.7%以上 にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】（不登校への対応）	
指標：年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。	
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】（人権を尊重する教育の推進）	
指標：年度末の校内調査の「学校では、命を大切にし、人権を尊重する心と態度を育てるための学ぶ機会が多くある」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 91%以上 にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

◎…成果・取組内容 ◆…課題 ☆…次年度への改善策

取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】(いじめへの対応)

指標：令和5年度の小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83.7%以上にする。

結果：

◎・

◆・

☆・

取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】(不登校への対応)

指標：年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

結果: 2023年度6人→2024年度

◎・

◆・

☆・

取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】(人権を尊重する教育の推進)

指標：年度末の校内調査の「学校では、命を大切にし、人権を尊重する心と態度を育てるための学ぶ機会が多くある」の項目について、肯定的に答える児童の割合を91%以上にする。

結果：

◎・

◆・

☆・

大阪市立矢田西小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】	
学校園の年度目標	
○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 56.6%以上 にする。	
○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1ポイント 向上させる。	
○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 71%以上 にする。	
○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 73%以上 にする。	
○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 74.7%以上 にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 (「主体的・対話的で深い学び」の推進)	
指標：小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 56.6%以上 にする。	
取組内容⑤【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 (言語活動・理数教育の充実)	
指標：小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1ポイント 向上させる。	
取組内容⑥【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 (理科教育の強化)	
指標：小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 71%以上 にする。	
取組内容⑦【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 (英語教育の強化)	
指標：小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 73%以上 にする。	

取組内容⑧【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

(体力・運動能力向上のための取組の推進)

指標：小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を **74.7%以上** にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

◎…成果・取組内容 ◆…課題 ☆…次年度への改善策

取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】

(「主体的・対話的で深い学び」の推進)

指標：小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 56.6% 以上 にする。

結果：

◎・

◆・

☆・

取組内容⑤【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(言語活動・理数教育の充実)

指標：小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント 向上させる。

◎・

◆・

☆・

取組内容⑥【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(理科教育の強化)

指標：小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 71% 以上 にする。

結果：

◎・

◆・

☆・

取組内容⑦【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(英語教育の強化)

指標: 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **73%以上** にする。

結果:

◎・

◆・

☆・

取組内容⑧【基本的な方向5 健やかな体の育成】(体力・運動能力向上のための取組の推進)

指標: 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を **74.7%以上** にする。

結果:

◎・

◆・

☆・

大阪市立矢田西小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く。)</p> <p>○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。</p> <p>○令和6年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、76%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容⑨【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）】 (ICTを活用した教育の推進)	
指標：授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く。)	
取組内容⑩【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 (働き方改革の推進)	
指標：年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。	
取組内容⑪【基本的な方向8 生涯学習の支援】(学校図書館の活性化)	
指標：令和6年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、76%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

◎…成果・取組内容 ◆…課題 ☆…次年度への改善策

取組内容⑨【基本的な方向 6 教育D X (デジタルトランスフォーメーション)】

(ICTを活用した教育の推進)

指標：指標：授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く。)

結果：

◎・

◆・

☆・

取組内容⑩【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】(働き方改革の推進)

指標：年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

結果：

◎・

◆・

☆・

取組内容⑪【基本的な方向 8 生涯学習の支援】(学校図書館の活性化)

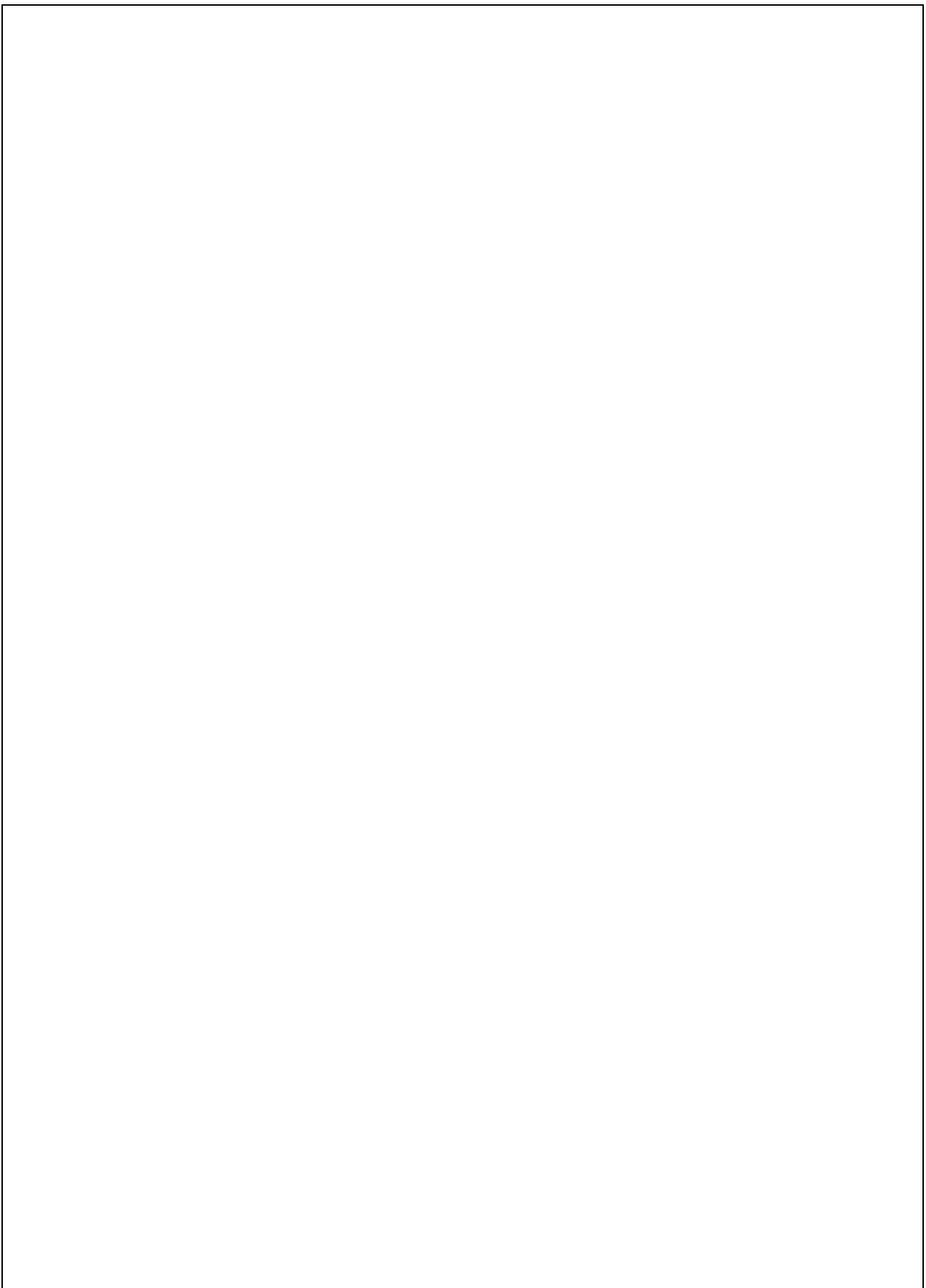
指標：指標：令和6年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、76%以上にする。

結果：

◎・

◆・

☆・



(様式3)

令和 5 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

1. **What is the primary purpose of the study?** (e.g., to evaluate the effectiveness of a new treatment, to explore the relationship between two variables, to describe a population, etc.)

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標 :	
年度目標 :	
•	
•	
•	
•	

3 今後の学校園の運営についての意見